

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ボランティア団体・NPO法人の支援				開始年度	—	
基本目標	充実した交流活動と生きがいづくり				終了年度	—	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	宮本 渉	評価者	森 弘道
20年度決算	0	千円	21年度予算	0	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	719 千円		21年度人件費	728 千円		事業従事者数	0.10 人 0.10 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域のNPO等を育成支援し、これまで行政が担ってきた事業の一部を協働により実施することにより、住民サービスの向上と効率的な行政運営を図る。
事業の内容	イベント実施や清掃作業等への支援、情報提供 高鍋大師の会(仮称)の立上げ支援、観光協会の独立(民間主導)への検討・支援

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# NPO法人数	公共の担い手としてのNPO法人の増加を目指し、協働のまちづくりの推進を図る。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 講演会回数	講演会を実施し、NPO法人やボランティア団体設立の機運を高める。
	2 活動状況広報回数	活動状況を広報することにより町民の参画を促すとともに団体のやる気を高揚させる。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	NPO法人数	目標値	4	5	7
		実績値	4	6	
		達成率	100.0%	120.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	講演会回数	目標値	1	1	1
		実績値	0	1	
		達成率	%	0.0%	100.0%
	活動状況広報回数	目標値	20	20	20
		実績値	25	27	
		達成率	%	125.0%	135.0%
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	第5次高鍋町行財政改革大綱により推進している事業であり、町事務事業の軽減を図るためにも成果を挙げていく必要がある。 推進担当課は政策推進課であるが、各課に関わりのある団体についてはそれぞれの立場で実践していく必要がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	ONPO法人は、昨年度2団体が県の認証を受けた。 ◎近年は、あらゆる場面で団体等からのまちづくりに関する提言を受けており、町活性化の機運が盛り上がりつつある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	ONPO法人やボランティア団体からの相談等に随時対応を行っている。 ◎イベントや清掃活動等、町職員の関わり方(業務orボランティア)が難しい。 ◎高鍋町観光協会事務局の独立(民間主導)のための検討が望まれる。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	ボランティア団体やNPO団体を支援・育成することにより、これまで町が担ってきた事業の一部を協働で行うことができる。

事務事業名	ボランティア団体・NPO法人の支援	担当課(局)	政策推進課
-------	-------------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	協働のまちづくりを進めて行くには、ボランティア団体やNPO団体の協力が不可欠であるが、どのような団体があり、どのような活動を行っているのかなど広報の必要性を感じる。講演会や各種イベントの支援を行いながら町民の理解を拡げて欲しい。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充		○	
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎団体の数を単純に増やすだけではなく、様々な事業を担うことができ、行政サービスにつながるようなNPOを支援することが必要であるとする。
	コスト	現状維持	